

令和5年度 学校評価

【教育の基本方針】(尼崎市教育振興基本計画)

- 1 未来志向の教育
- 2 個の尊厳や人権の尊重
- 3 家庭・地域社会との連携(子どもの視点に立った教育)

[各校の重点取組について] ・目標や希望を持ち、学び続ける意欲・態度を育てる ・豊かな心を育む ・基本的な生活習慣を身につける
 ・信頼される学校づくりを行う ・部活動を支援する ・勤務時間の適正化を推進する

学校評価の観点

		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む (1) 授業改善の取組を促進するとともに、客観的なデータを踏まえた確かな学力の保証及び縦のつながりを重視した校種間の連携に努める (2) 障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となる特別支援教育の取組を充実させる (3) 食育を通して生活改善の取組を促進し、健全な心と身体を培い、豊かな人間性の育成を図る (4) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る (5) 積極的にICTを活用し、情報活用能力の育成を図る		3.5	3.5
取組	成果	課題と改善策	
(1)①研究推進委員会の推進 授業改善・学習規律の維持 ②学習習慣の定着 ③小中連携の推進 (2)①特別支援教育推進委員会の推進 ②不登校委員会・教育相談委員会の推進 (3)保健委員会・給食委員会・食育の推進 (4)体育科研修・部活動の支援 (5)ICT推進委員会の推進	(1)①推進委員会週1開催定例化、年間指導計画作成、各種研修会開催(ハンドブック研修会・評価の研修会・小中連携等)校内研究授業、テストのルールづくり、自動採点ソフトの活用 朝・終学習の実施 ②タイムくん 家庭学習ノート 家庭学習の定着 ③小中連携研修 夏休み本校にて実施 情報共有 学習面・生活面での情報共有 合唱見学 部活動見学 生徒会訪問 異校種交流 (2)①②支援・不登校委員会週1開催、現状把握・情報共有に努めた 教育相談コーナー設置 別室指導・教育相談週間・生活アンケート・関係機関との連携・ケース会議 通級指導の推進 SC連携 (3)コロナ・インフル感染予防の徹底 給食指導の充実 食育・アレルギー対応研修 保健だよりの発行、保健講演会の実施、給食放送の実施 給食委員会の推進 (4)体育授業時の補強プログラム 体育大会 球技大会 部活動紹介・社行会 (5)ICT研修会 必要に応じてオンライン授業の実施	(1)①継続して学習規律の維持に努め、授業改善を推進する。生徒指導部と連携し、授業ルールの徹底を目指し、推進委員会を充実させる。 ②家庭学習の定着を図るために、自主学習ノート、連絡帳「タイムくん」の継続・工夫した活用により、宿題点検等の徹底を含め家庭学習時間の確保に努める。 ③小中連携における取り組みを円滑な校種移行とし、連携を推進する。また、連携の成果について検証する。 (2)特支コ・教相コを中心に、チーム学校を目指し、外部機関との連携・情報共有・共通理解を深め取り組みを推進する。 (3)食育・望ましい昼食のあり方等についても推進・改善する。 (4)体育大会・球技大会・部活動・体育授業等において、生徒がやりがいを感じ、達成感を味わえる環境づくりに努める。 (5)タブレットを更に活用し、ICT教育を推進する。	

		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る (1) 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (2) 道徳性育成の取組を促進し、多様性を受容し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (3) 各校のいじめ防止基本方針に基づき、誰もが安全・安心して過ごすことができる学校の環境づくりに努める (4) キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成を図る (5) 不登校にならないようにするための学校づくりを進めるとともに、不登校児童生徒の学習環境の確保や家庭への支援に努める		3.5	3.5
取組	成果	課題と改善策	
(1)好ましい人間関係の育成 体験的な活動の充実「道徳教育」「特別活動」「人権教育」の充実 豊かな心を育む (2)キャリア教育、性教育、情報モラル等各種講演会の実施 (3)いじめに関するアンケートの実施 教育相談週間の設定 (4)進路情報の提供 進路説明会の実施(2,3年) 未来への扉活用 トライやる・ウィークの実施 キャリアパスポートの作成 キャリア教育の推進 (5)支援・不登校委員会の推進 別室指導の充実 SC・SSW・関係機関との連携	(1)落ち着いた学校生活 サポート・センタード(校則)の見直しを通して推進) 生徒指導だより アンケート・タイムくんにより情報収集し迅速対応 善意の傘活動 (2)講演会の実施 進路指導の充実 規範意識の向上 (3)教育相談体制の整備(各学期) いじめアンケートの情報共有・迅速な対応 (4)未来への扉活用 キャリアパスポートの作成 進路説明会の実施(2,3年) トライやる・ウィークの実施 (5)特別支援教育推進委員会、支援・不登校委員会を定期に開催し、情報共有強化 校内外リソース表利用 各種カンファレンス実施	(1)道徳の授業時間だけでなく、全教育課程の中で道徳的実践力の向上を図って行く。生徒指導において、サポートセンタードを中心に据え、生徒支援を実践して行く。 (2)キャリア教育、性教育、情報モラル教育の推進に講演会の実施のみならず、生徒会と連携し取組を推進する。 (3)教育相談週間の時間設定や持ち方の工夫。支援・不登校委員会を中心に、支援生徒に対する個別支援計画を作成していく。 (4)キャリア教育において、指導計画・実施計画を明確にする。将来への土台づくりとして位置づけ推進する。 (5)通級指導・別室指導・関係機関等における環境整備を推進する。	

3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校づくりに取り組む (1) 教職員の資質向上の取組を促進し、業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2) 学校と地域との連携・協働を推進し、地域とともにある学校づくりに努める		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
		3	3
取組	成果	課題と改善策	
(1)①教職員の授業力・資質向上の取組 (2)業務改善委員会の推進 (2)①学校評議委員会、小中連携、健全育成協議会等の推進 (2)オープンスクール・行事等の学校開放 情報発信	(1)①校内研究授業の実施 体罰・いじめ・非遵行為・SC等の校内研修会 (2)業務改善委員会開催 行事の見直し メール欠席連絡の活用 ペーパーレス会議 朝の打合せ削減 (2)①学校評議委員会を年3回開催し、学校経営に関する意見聴取 小中連携研修会、健全育成協議会の実施 (2)ミマモルメ・学校評価・部活動方針・いじめ防止基本方針・学校だより・学校生活や月中行事予定等をHPを活用して、情報発信	(1)校内研究授業・研修会の複数回実施 業務改善についても、必要ときに検討・改善できる体制をつくり、積極的な改善に努める。 (2)更なる情報発信より、保護者・地域より支援・応援しやすい環境づくり。 学校連絡協議会の設置・推進	

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る (1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び学校園内の安全確保を図る (2) 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
		3	3
取組	成果	課題と改善策	
(1)安全点検の実施 整理整頓 (2)防災・避難訓練の実施 危機管理マニュアル作成 安全講習会等の実施	(1)各学期安全点検の実施 随時校内危険箇所・破損箇所補修・修繕 (2)防災・避難訓練実施 避難経路確認 防災意識の向上 危機管理マニュアルの周知	(1)学校施設の修繕・補修を進め、事故防止に努めて行く。そのために、教職員の危機管理意識の向上に努める。 (2)防災・安全教育において、自分の命を守るだけでなく、周りの命も守る意識を高め、地域防災の担い手として活躍できる人材育成を目指す。	

		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
教育目標			
(1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実		3	3
取組	成果	課題と改善策	
(1)・自分と他人を大切に育てる生徒の育成 ・確かな学力を持つ生徒の育成 ・たくましいからだと豊かな心を持つ生徒の育成 (2)教育活動の充実を目指す	(1)教職員一人ひとりが生徒の成長を考え、取り組んでいる (2)行事・体験活動の充実 生徒会を中心としたあいさつ運動 授業の充実 部活動の充実 生徒指導の充実 特別支援教育の充実 進路指導の充実 道徳教育の充実 等	(1)全教職員が学校教育目標を共通理解して、学校運営を図りながら、生徒会等を中心として、生徒自らが実践できる体制を支援する。 (2)引き続き、授業指導、部活指導、学校行事を中心に、生徒の充実した活動を推進し、全教職員が共通理解のもと、健全な生徒を育成する。	

		評価Ⅰ(教職員)	評価Ⅱ(校園長)
研究テーマ			
(1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実		3	3
取組	成果	課題と改善策	
(1)①学力向上 「学びたくなる授業をつくらう」よりよい授業を目指し、授業デザイン3つの視点推進 ②ICT教育の推進 ③小中連携の推進 (2)①各教科年間計画の作成 家庭学習の定着 ②各教科年間計画の作成 ③合同研修会 教科別小中連携 合唱見学 部活動見学、体験 生徒会による学校説明	(1)①教科部会月1定例化 各教科年間計画・評価のポイント・家庭学習の仕方作成 校内授業研究・授業見学の充実 家庭学習ノート活用 連絡帳「タイムくん」の活用 ②授業研修 小中間の共通理解 移行の円滑化 (2)①考査前部活動の休止 テスト結果分析 ②オンライン連絡・学活・授業の実施 ③学習面・生活面で共通取組目標設定 学習面～ICT推進・自主学習ノートの充実 生活面～情報交換の活性化・チーム学校の推進・あいさつ指導	(1)タブレット活用の推進 家庭学習ノート・タイムくん活用の推進 (2)更なる高みを目指して、改善・工夫する。	